

大小7000を超える島々から形成されるフィリピン共和国。

年間を通じ温暖な気候、島々の間を様々な養分を含んだ海流が通り抜けることから

世界有数の熱帯性海洋生物の生息地であり

日本からのアクセスも良いということもあり

抜群の人気を誇るダイビングディスティネーションでもある。

その中でも近年注目を集めているのがボホール島。

飾らない、のどかな島に建つノバビーチリゾートのコンセプトは「食う・寝る・潜る」。

ダイバーだけに与えられた、極上の癒し空間がそこにある。

NOVA の 休日

フィリピン ボホール島

Photo&Text = 古見きゆう
Special thanks = ワールドツアープランナーズ

パノラマビューのノバビーチリゾートで
迎えるサンセットタイム

Philippines, Bohol
Web-lue 2009. Spring



イカダに乗ってドンぶらこ



イカダに乗ると、なぜか皆笑顔になる。イカダセラピーか？

ノバビーチリゾート滞在中、全てのダイビングの基本は手作りのイカダとなる。ハウススリーフに潜るのも、大型のバンカーボートに乗り移るのも全てイカダ経由。しかし、これまでの人生の中で、イカダに乗ったことがあるという人は、一体どれだけのいるのだろうか？ 絵本や漫画、映画などの世界でしか、接することは無いと思われるイカダ。ドンブラコドンブラコと、ゆっくり進むイカダにダイビング器材と、大きな期待を載せて海に出る。何でもかんでもスピードが求められる現代社会。それに真つ向から逆走するのようなイカダ船。急がなくなつていいんです。優しい風と波を感じながら、のんびり行きましょう。いつもボールの海は待っていてくれますから。

広いバンカーボートも乗り心地抜群



リゾート目の前からイカダに乗り込む

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



ノバの楽しみ その1 [ハウスリーフ]

のんびりぷかぷか フィッシュウォッチ



01/ 浅場のハマサンゴで仲良く生活するカンザシヤドカリ
02/ 水深20mを過ぎた辺りからフラッシュヤーの仲間が増えだす
03/ 小さなイソギンチャクで集団生活していました

浅場にはユビエダハマサンゴなど美しいサンゴの群生が広がる

House Reef

Philippines, Bohol
NOVAの休日
Web-lue 2009. Spring

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.wip.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ



イカダに乗って朝メシ前の海に飛び込む

ノバビーチでのハウスリーフダイブは、早朝1本目に潜るのが基本となる。少し眠たい目を擦りながら、てくてくリゾートの階段を降り、スタッフお手製のイカダに乗り込むこと約3分でエントリー。なんとも味があり、実に楽チンなイカダダイブ。これなら早朝ダイブも文字通り朝メシ前である。

ノバのハウスリーフは、沖に向かって緩やかなスロープが続き、強いカレントも殆ど入らないので、ビギナーから安心して潜ることが出来るポイントだ。浅場にはユビエダハマサンゴがビッシリと群生していて、その隙間には朝陽に照らされて、夜行性のナミダテンジクダイなどが、眠たそうにポケーつと浮いている。徐々に水深を下げると、サンゴが途切れ、砂地とガレ場になってくる。「こういうところにはカニハゼとか居るんだよね～」なんて思っていたら、

早速居ました大小揃ったカニハゼちゃん。やつぱり可愛い動きだね。隣の窪みでは、お洒



01/全身を振り続けるチョウチョウコショウダイの幼魚

02/色白ブリティーフェイス代表のニチリンダテハゼ

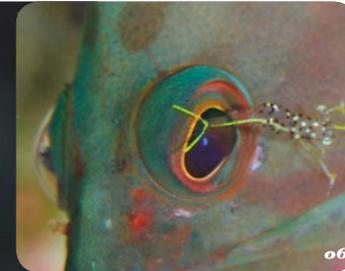
03/夕方になると現れるニシキテグリ。サンセットダイブも熱いです

04/少し深場にいっぱいいたレッドスポッテッドドワーフゴビー

05/パーチークダムゼルの子供。子供のうかが華なんです

06/ハタの目を排除するミカツキコモンエビ。痛くないのかしら……

07/人気のカニハゼも大小取り揃えております



落模様のヤマブキハゼも発見。ジョーフィッシュもなんだかいつぱい居るなあ。う～ん。朝からパシャパシャ撮ってしまつて、なんだか忙しい……。贅沢な悩みだけ。狭いエリアに見所が凝縮されたハウスリーフですな。実によく出来たポイントだ。

結局のところ取材期間中は、毎朝潜ってしまった早朝ダイブ。しかも、ついつい時間を忘れ、毎回空腹が我慢できなくなってから、ようやく初めて浮上を考えたような、どつぶりのんびりハマるポイントなのでした。

ノバの楽しみ その1

[ハウスリーフ]
のんびりぶかぶか
フィッシュウォッチ

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

House Reef Philippines, Bohol
NOVAの休日
Web-lue 2009. Spring



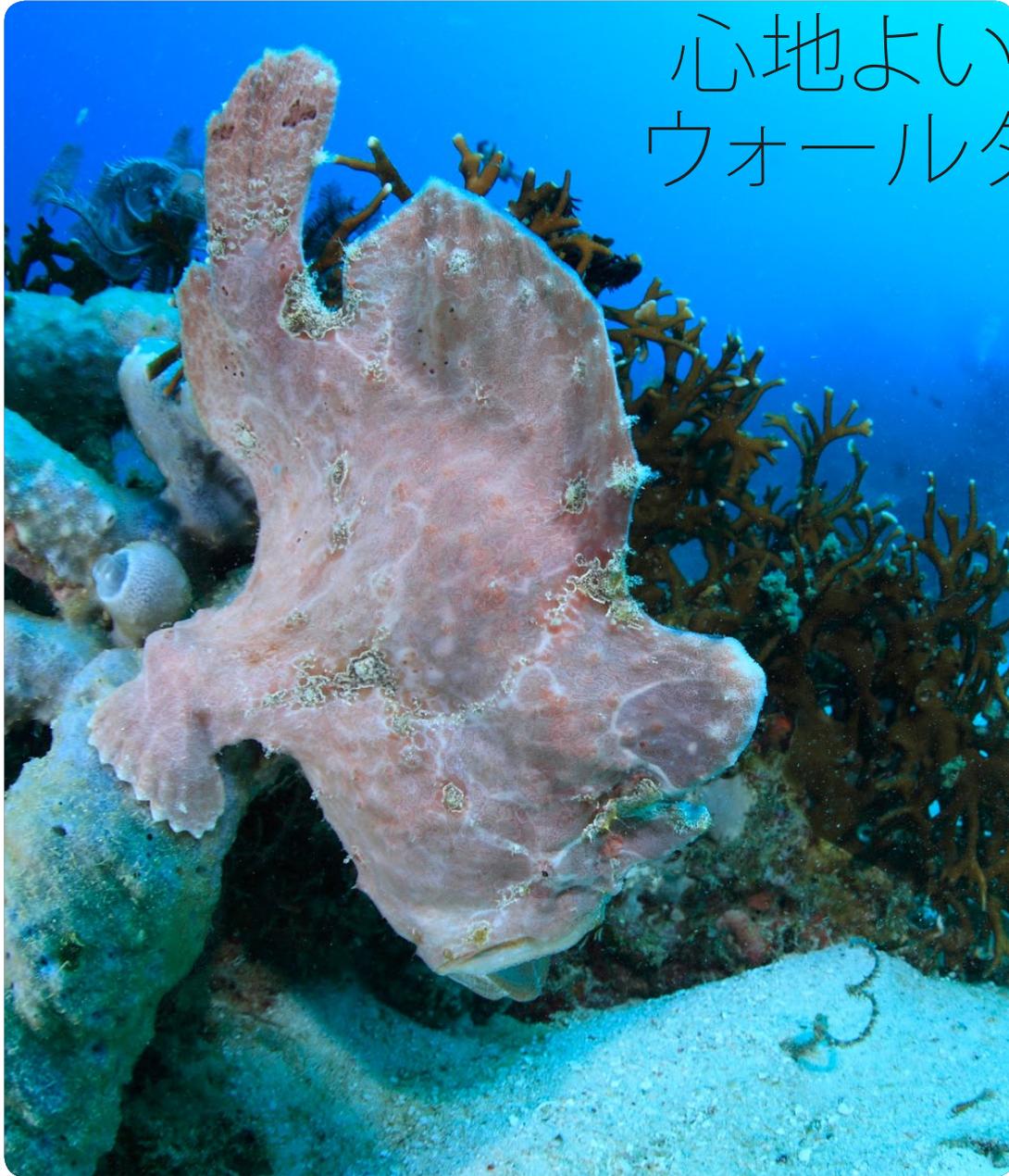
Information Link
<http://www.wip.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ

オエーっと口を開けるオオモン君。さては二日酔いですね

ノバの愉しみ その2 [パングラオ島]

心地よい潮に乗る ウォールダイビング



パングラオ島のドロップオフにはソフトコーラルもいっぱい

Panglao

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



Information Link
<http://www.wlp.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ

壁、サンゴに時々マクロ

01/リーフトップの根にはメラネシアンアンティアスが群れる



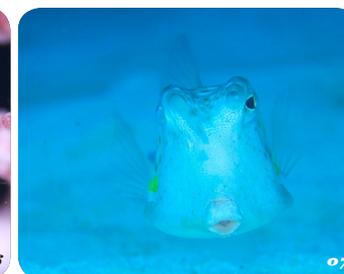
02/かわいいサンゴの上で休憩中のストライプヘッドドワーフゴビー



03/お洒落なインテリアを手に入れたイエローストライブドワーフゴビー



04/一味違った模様のセジロクマノミ。かわいいです



エローヘッドドワーフゴビーなどのプリティーなベニハゼを見つけることが出来るだろう。ボトム付近まで降りてみれば、ムーミン谷に居そうなシンジュアナゴや、とぼけた顔のコンゴウフグなどのファニーな魚や、バレーボール大のオオモンカエルアンコウにも出会える可能性は高い。サンゴからお魚まで、バランスよく揃ったバングラオ島のポイント。「ダイビングついでいいなあ」と素直に思える、そんなポイントがあなたを待っています。

05/シンジュアナゴが流れに揺られユラユラと。絡まないんですかね



08/人気のビッグミーシーホースも健在です

07/ファニーフェイスのコンゴウフグ。角が自慢

ノバの愉しみ その2

[バングラオ島]

心地よい潮に乗るウォールダイビング

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



Information Link

<http://www.wip.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ



ノバの楽しみ その3 [バリカサグ]
彗星の降る島

巨大なギンガメのブラックホールに飲み込まれる

Balicasag

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



Information Link
<http://www.wip.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ

01/ロケットランチャーの弾のような、極太バラクーダの群れ

02/間近に見ると本当に竜巻のようだ

03/時には天の川のように海中を渡る



01



04



02

04/とんでもない数のギンガメの渦に飲み込まれる。鳥肌モノの興奮だ

05/見渡す限りのギンガメの壁。まるで一つの生き物のようだ

06/なんとも、のんびりしたバリカサグ島。しかし、この水面をくぐると……



03



05



06

怒涛の群れに圧倒される

世界的な知名度及び人気がある、ビサヤ海域を代表するダイビングスポット、バリカサグ島。この島の周辺に現れる、ギンガメアジやバラクーダの巨大な群れを求めて、遠くセブなどから片道数時間もかけてやってくるショップも数知れない。それだけ時間をかけても訪れる価値のある海域なのだ。しかし、そんなビッグなポイントも、ボホールからだと片道およそ30分弱。船上で暖かい風を感じながら、ウトウトし始めた頃にはもう到着。なんととっても近いのは嬉しい。

バリカサグ島の周辺は潮通しが非常に良く、常に流れがあり、当日のカレントの入り方によって、群れの固まりそうな場所を予測しエントリーする。パングラオ周辺のポイントよりも垂直に立ち上がるドロップオフの際を、ドリフトで流していく。フュージャーの群れが、カスマアジなどの捕食者に追われ右往左往している。何かが出そうな雰囲気はブンブン漂っている。

ガイドが突然ダッシュを始めた。慌てて後をついていく。透明度の向こう側から何か近づいてきた。バラクーダだ！ しかも太い！ 常にバリカサグの海流にもまれるバラクーダ達は、それぞれがミサイルのように太く遅い。その群れの中に飛び込み泳ぎ撮影を続ける。数々のギョロリとした大きな丸い瞳が、全て僕に向けられている気がする。緊張を覚える瞬間。しかし彼等は一瞥をくれると、はるか暗い海底に去っていく……。その次の瞬間だ。僕の目の前に惑星のような、とてつもなく巨大な塊が現れた。濃紺の宇宙に現れたギンガメのブラックホール。僕は成す術もなく、ただただ呑み込まれるしかなかった……。

ノバの楽しみ その3
[バリカサグ]
彗星の降る島
Philippines, Bohol

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



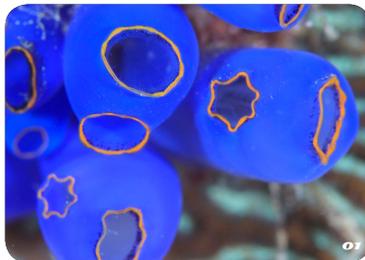
Information Link
<http://www.wip.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ

01/覆面レスラーのようなホヤ。個人的に大好きなんです

02/小さなお魚達とじっくり向き合える海です

03/スプリングアダメル。模様がかっこいいんです



04/平べったいサンゴの上には必ずと言って良いほどのキャンディーケイン

05/鏡のような水面の下を気持ち良さそうにギンガメアジが泳ぐ

06/ナンヨウキサンゴなど絵になる背景もいっぱい



きゃうめい
ポホール
の
愉しみ方



ガッツリ潜ってゆるっと寛ぐ

個人的には2回目のポホールの海。前回、度肝を抜かれたバリカサグの魚群は、今回も健在。あそこまで大きな群れが見られるポイントは、正直なところ世界的に見ても、なかなかあるものではない気がする。リピーターはもちろんのこと、ネットや雑誌などから事前情報入手したゲストのリクエストが圧倒的に多いのも頷ける。規格外のスケールを持つポイントだろう。

そして、今回は時間的な余裕もあり、ハウスリーフも含めたパンガラオ島の周辺ポイントも、じっくりと潜り込むことが出来た。前はどちらかと言えば、ポホールの海の全体的なイメージを撮影するため、広角レンズ主体で撮影していたのだが、今回はマクロ生物にも沢山出

会うことが出来た。特に印象に残っているのが、ドロップオフのサンゴや小さな窪みに隠れるカラフルでキュートなハゼ達。特にお気に入りののがキャンディーケインドワーフゴビー。生息環境を覚えればいとも簡単に発見できるし、一際目を引く鉛ちゃん模様の赤イストラップ。こんなにも小さなハゼが、無数に存在することに気づいた僕は、もう嬉しくて嬉しくて、夢中で撮影を続けた。しかも、このような

環境にはお洒落な柄のコムトウスプレニーなど、愛くるしい表情豊かな魚も多いので、初心者から写真派ダイバーまで、ゆっくり楽しむことが出来るだろう。やっぱり生き物が多いと楽しいものです。

そしてパンガラオ島、バリカサグ島と雰囲気のみで違うダイビングポイントに、移動のストレスを感じることなく、楽に潜ることの出来るポホールの海。そして早朝を含めれば、午前中で3ダイブ出来てしまうノバのスタイル。午前中はバシッと潜って、昼からはのんびりと読書や、併設のサロン・サナンドで海風を感じながら、ビールを楽しんでリラックス。ダイバーが求める理想のリゾートライフは、ノバにあるのかもかもしれませんよ。

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



のんびり過すノバの一日

心地よい風が吹き抜けるテラス。ハンモックがまた気持ち良い



ノバビーチリゾートは、訪れるゲストへ理想のリゾート生活を提供すべく、2004年のオープン以来常に進化を続けている、こだわりのリゾートだ。地元の天然素材を使用し、大掛かりな機材などは殆ど使わずに地元住民の力を借りながら造り上げた建物ひとつひとつは、ポールの素朴な自然から誇張することなく、穏やかな温かみと安らぎを与えてくれる。毎回並べられる食事は野菜も多く、日本人の口に合うものばかり。パノラマビューのレストランで、共に潜ったゲストとダイビング話を花を咲かせる。ノバは自然との距離、人との距離が程良く近い。それが、最高に心地よい。

2008年の開業から大人気のサナンドスパは、女性だけでなく男性からも熱い支持を受ける。今年に入り新たにストーンセラピーも開始。「せっかくだから試しで」と薦めてもらって施術してもらったのだが、ほど良く暖められた石のあまりの気持ち良さで、開始10分で意識喪失。今

回の取材中、毎日マッサージを受けていたゲストがいたのだが、実際に受けてみて納得。皆さん是非お試しアレ。今後は更にマッサージスペースを拡張し、どんどん受け入れ体制も良くなっていくとのこと。

リゾート内の、のどかな空気が空気がまた最高の贅沢

予約はお早めに。

「毎回来る度にリゾートのどこかしらが進化していて、本当にいつも面白いんですよ」とリピーターのゲストが語ってくれた。それも、ダイバーやゲストのニーズに、いち早く応えている結果と出ることが出来るだろう。ノバは、かゆい所に手が届くダイバーの為のダイバーズリゾートなのだ。

01/ほんのり暖かい石を使ったストーンセラピーは必ず受けたい

02/近日中にはベッドも増え、更にパワーアップするサナンドスパ

03/サロンサナンドの主人である愉快な奥山さんと、アーネル



毎度の食事も絶品です



やっぱりサンミゲールは欠かせない



記念ダイブなどを迎えるとフィリピン名物、豚の丸焼きが振舞われることも



サロンサナンドは、まったりと飲んで会話を楽しむスペース



夕方はサロンに集まって、飲みながらログ付けなども



プールサイドには暖かいジャグジーも設置された

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



Information Link

<http://www.wtp.co.jp/renewal/bohol/index.htm>

← 関連情報HPへ

ゲストのこえ

Guest Voice in NOVA



Guest1

唐木 みころさん (ノバ歴1回目)

短い期間での滞在でしたが、ご一緒した方々も楽しい方ばかりで、本当に楽しむことが出来ました。海良し、リゾート良し、天気良しで大満足でした。また遊びに来たいと思います！



Guest2

中間 洋成さん (ノバ歴7回目)

短い期間でしたが今回も、とても楽しむことが出来ました。ノバはまさに癒しの空間ですね。人柄の良いスタッフ達は、心地よい適度な距離感で接してくれるのが嬉しいです。リゾート目の前のハウスリーブも良いし、バリカサグの大物も良いし、ダイバーにとっては言うことなしの環境ですよ。

Guest3

橋本 純尚さん (ノバ歴7回目)

ボホールは海も空も人も美しく、ありのままにいられる自分を感じます。我々が快適に過せるよう手助けをしてくださる、ノバのスタッフの方々に感謝します。来るたびに少しずつ進化していくリゾートも面白いし、何とんでも家庭的なサービスが嬉しいですよ。個人的にはハウスリーブのかわいい幼魚達を見ると、胸がキューンとなってしまいます。



Guest4

竹田 幹郎さん、祐子さん (ノバ歴1回目)

子連れ初心者ダイバー夫婦です。6歳と3歳の娘を連れての6日間でした。早朝から昼過ぎまで、親はどっぷりとダイバー気分になれる最高の環境でした。特別では無いと思いますが、現地のスタッフの方々に手厚く子供達の面倒を見てもらえて、安心してダイビングをすることが出来ました。親子で色々良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。

Guest5

若林 忍さん (ノバ歴2回目)

目の前のハウスリーブでは、日本で見られるクマノミがほとんど見る事ができ、ハゼもたくさんの種類がいますね。リングアイジョーフィッシュ、ガーデンイール、エビス、カエルウオ系、そしてニシキテグリまで！1ダイブで盛りだくさんなお魚に出会えました。バリカサグへは30分と近く、魚影が濃くてバラクーダやギンガメアジの群れも見ることができて楽しいポイントでした。レストランから眺める開放的な大パノラマも好きだし、バーではみんなで楽しくおしゃべり。海に癒され、景色に癒され、スバに癒され最高の楽園ですね。

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring



Sightseeing in BOHOL

お腹いっぱいボホールの海を満喫したら、最終日には是非とも観光も楽しんでみたい。フィリピンメガネザルのターシャをはじめ、ボホールならではの生物もいるので、見所満載の陸上のボホールも堪能してもらいたい。良き思い出となることは間違いないだろう。ノバで陸上観光ツアーをアレンジしてくれるので、スタッフに気軽に相談してみよう



ターシャ
フィリピンメガネザルのターシャ。ボホールに来たら一度は会っておきたい、プリーティモンキー。ちっちゃいですよ〜。



アイランドシティモール (ICM)
タグビラランの空港や港の近くに建つ大型のデパート。レストラン、洋服屋、食料品などなど格安でゲットできる。お土産の購入には是非。



バクラヨンチャーチ
400年以上前にサンゴ石を積み上げて造ったといわれる、フィリピン最古の教会。

チョコレートヒルズ
不自然なほど一面にポコポコと山が盛られている。乾季にはもっと山々が茶色く見えるそうだ。世にも不思議な光景です。

ブラッドコンパクトサイト
スペイン統治時代の初代総督と、ボホールの首長が友好条約を交わした場所。互いの腕を切り、滴る血をワインに落として飲み交わしたそうだ。



About NOVA

ノバビーチリゾート

自然と同調して造られている、ダイバーの為のダイバーズリゾートだ。目の前のビーチから船は出航、海から帰ってウエットスーツを脱げば、すぐに食事。温まった体は真水のプールで冷やして、バーでサンミゲールを一杯。気持ちよくなったところで、スパのマッサージを受ける。まさに言うことなし！新たに加わったガイドのケイコさんも、フィリピンでのガイド経験は豊富なので非常に頼りになるだろう。



シーサイドヴィラ



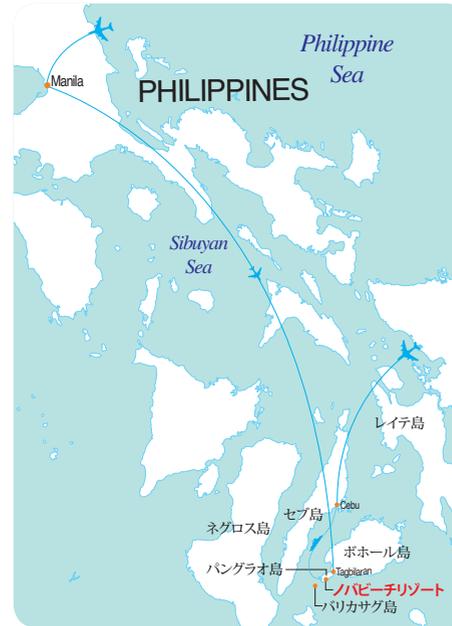
トレスヴィラ



地元天然素材を使用して建てられた温かみのあるヴィラの一例



デラックスルーム



Access

アクセス

●セブ経由の場合

各地(東京、名古屋、大阪、福岡)からセブへ入リー泊。翌日、早朝の高速船に乗り込み1時間半ほどでボホールのタグビララン港へ到着。お出迎えを受けて送迎車に乗り込み30分ほどでリゾートに到着。

●マニラ経由の場合

各地(東京、名古屋、大阪)からマニラへ。マニラで国内線に乗り継ぎ、70分ほどでタグビララン空港に到着。お出迎えを受けて送迎車に乗り込み30分ほどでリゾートに到着。

ツアー予約、お問い合わせは

(株)ワールドツアープランナーズ

東京都港区浜松町2-2-3 磯山ビル5F
TEL 03-5425-7711 FAX 03-5425-7713

<http://www.wtp.co.jp>

Philippines, Bohol

NOVAの休日

Web-lue 2009. Spring

